

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立 筑紫 高等学校

58

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>チャレンジ精神と豊かな発想力を備えた、心身ともにたくましい人材を育成する学校 生徒と教師が心を合わせる「師弟同行」の教育により、生徒の夢の実現に取り組むとともに、地域に根ざした探究学習を通して、主体的に未来を切り拓くことのできる人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>「筑紫魂」を胸に宿し、高き理想を掲げ、未踏の世界を切り拓かんとする「志」あふれる未来人財の育成を図る。</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>「学びに向かう力・人間性等」を涵養し、社会で必要とされる主体性・自主性・協働性を育む。</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>高い「志」を掲げて目標達成のために、本校入学後継続的に学業や部活動・生徒会活動等に全力で取り組む意欲に溢れる生徒を求める。</p>

学校運営計画(4月)			
学校運営方針			評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>昨年度は志願倍率向上を図るために、教育活動全体の見直しを行い、10年ぶりとなる1.33倍(最終)の志願倍率を達成することができた。これは生徒目線に立った教育の方向性が、中学生や保護者の間で共感と賛同が得られたことや、動向分析等を踏まえた、募集人員や内定基準等の「入試設計」が的確であったこと、さらには、本校の魅力をInstagram等の広報活動を通して中学生によく浸透・訴求できたことによるものである。本年度は、生徒の学校満足度をさらに高めるために、生徒目線に立った教育活動を展開しながら授業等のあり方を戦略的かつ不断に見直すとともに、職員の働き方改革を断行することで心理的安全性の高い職場環境を構築する。</p>	<p>ICTを最大限に活用した授業およびDX教育の推進</p>	<p>生徒の自主性を育み、個に応じた教育活動を充実させ、生徒の学習意欲を喚起するために、生成AIや個別最適学習ツール(スタディサプリ)、タブレット端末等のICTを最大限に活用した授業およびDX教育を推進する。</p>	
	<p>非認知能力の育成と観点別評価の在り方の見直し</p>	<p>積極性、逞しさ、創造性、他者とのコミュニケーション能力等の「非認知能力」の向上を図るとともに、観点別評価、とりわけ「学びに向かう力、人間性等」の評価方法の見直しを行うことで、生徒の学習意欲の向上を図る。</p>	
	<p>探究活動の改善とそれを生かした進路支援体制の構築</p>	<p>生徒自らが掲げる「高い志」の実現を図ることができるように、「探究活動」の再編と改善を行い、活動を通じて得た学びの成果を、総合型選抜や学校推薦型選抜等の入試方式に生かして、進路実現を図ることのできる進路指導体制づくりを行う。</p>	
	<p>魅力的な県立高校となるための新学科コース設置の検討、教育課程改編構想、および広報活動の推進</p>	<p>選ばれる魅力的な県立高校であるために、時制、学校行事、校則等の見直しや、新たな学科・コース設置に向けた検討を行い、その際、生徒の願いや思いを積極的に反映させ、生徒にとって魅力ある教育課程づくりを行うとともに、広報活動を通じて取組を広く中学生に訴求する。</p>	
	<p>社会に開かれた教育課程の実現</p>	<p>生徒が誇りとする満足度の高い学校であるために、「学校運営協議会」を運用することによって、心理的に安全な教育相談体制と地域社会との協力体制を強靱なものにすることによって、「社会に開かれた教育課程」の実現を図る。</p>	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の結果等
教務課	個別最適な学びの推進	・生徒ファーストの視点から、スタディサプリを授業で活用することにより、個に応じた指導を行う。教科担当・担任・副担任・部活動顧問が連携し、生徒の到達度を把握し、その向上を図る。	・授業におけるスタディサプリの活用状況と満足度調査 ・効果を実感できた活用具体例	
	学習習慣の確立	・スタディサプリの多様なコンテンツの配信や教務通信等を用いて自走を促し、平日2時間、休日5時間の主体的な学習ができる生徒を育成する。	・学習時間調査	
総務課	式典を円滑に実施し、生徒の筑紫魂を育成することに貢献する。	・式典については、各部署と相談した上で早めに要項を出す。創立記念式典は、事後の感想文を有効に活用し、学校に対する思いを共有できるようにする。	・事後の感想文	
	学校要覧や新入生のしおり等、印刷物や作成物を確実に仕上げる。	・年度初めの準備や学校生活において必要な印刷物の準備を確実に行うことによって、教員も含めて学校生活が円滑に送れるように工夫する。	・確認調査	
広報課	積極的な広報を強化し、体験入学者を増やし、受験倍率1.4倍を目指す。	・中学生体験入学や各種学校説明会をオンラインや対面で柔軟に実施する。第5学区内の中学校、学習塾への定期的な訪問を実施し、筑紫高校の魅力発信を行う。	・説明会等の参加人数 ・説明会後のアンケート調査 ・受験倍率	
	学校HPや公式インスタグラムを持続可能な運用を行う。	・HPや公式インスタグラムを活用し、本校生徒の日常や学校行事、部活動などの情報を積極的に発信する。また、広報課だけでなく生徒や教員で記事を作成できるように計画を立てる。	・HPの記事更新の数 ・インスタグラムの日々の更新の数 ・インスタグラムのフォロワー数	
生徒課	基本的な生活習慣の確立と規範意識の徹底、リーダーを育成し、学校を活性化させる。	・教育活動全般を通じて礼節を重んじる指導を展開。挨拶・時間厳守等の授業規律の指導を徹底。生徒会や部活動生を中心としたリーダー育成に重点を置き、生徒の活躍の場の増加、連帯感、帰属意識を高める。	・学校行事等事後アンケート	
	生徒の実態を把握し、いじめの無い学校を目指す。	・いじめや不登校生徒の予防措置として、全職員による日々の生徒観察や月に1回のアンケート調査を行い、生徒の実態把握に努める。また、月に1回のいじめ防止対策委員会を効果的に機能させ、初期対応に重点を置いた対策を行う。	・学校生活アンケート ・いじめアンケート	
保健課	生徒の心身の健康を保持向上させる。	・感染症対策や熱中症対策など健康維持に関連するリーフレット等を掲示・配布することで生徒の健康意識を高める。SOとの連携をとおして生徒の心のケアを行い、個に適切な支援により安心安全な学校生活を支援する。	・保健室利用カード ・通級指導の希望調査	
	校内の安全管理を実現する。	・防災避難訓練をとおして校内避難経路図やハザードマップを生徒に確認させ、職員と生徒の防災意識を高める。また、薬物乱用防止講演会をとおして生徒に生命を尊重する心を育て、規則尊重心を高めさせる。	・防災避難訓練振り返りアンケート ・薬物乱用防止講演会振り返りアンケート	
進路課	各学年と連携して、高い志をもった生徒を育成する。	・3年間を見通した進路指導計画を作成し、各学年の適切な時期に進路通信の発行や講演会、学年集会を実施し、生徒の進路意識を高める。	・志望校調査	
	動画教材や課外、講座を活用し、個別最適な学びを実現する。	・放課後課外や難関大講座を実施し、実力養成を図るとともに、生徒同士が互いに刺激し合い、高め合う空気を生み、波及させる。また、各教科と連携し、生徒の習熟度に応じてスタディサプリを活用する。	・課外、スタディサプリの満足度調査 ・課外、スタディサプリの活用方法についての意見	
探究科	探究活動の再編と改善を行い、高い志と実践力をもつ生徒を育成する。	・探究活動にデータサイエンスの視点を取り入れることで、より実証的な分析を行い探究の質を高める。また、生徒の学びの履歴を記録・蓄積し、学校内外のフィードバックを受ける機会の充実を図る。	・生徒の探究活動の成果物 ・生徒の振り返り(ポートフォリオ) ・生徒の事前事後アンケート ・筑紫野市役所等の外部評価	
	自走する力を強化し、社会の変化に対応できる生徒を育成する。	・社会人講演会・佐賀大学研修・筑紫アカデミックツアー等をおとして、生徒が自己のキャリア形成に興味・関心をもてるよう促す。また、語学研修を含む校外研修を充実させる。	・各取組後のアンケート調査 ・生徒の振り返り(ポートフォリオ)	
研修課	教科教育力の継承と授業力向上	・相互授業参観や研究授業などを活かして、学年や教科の枠を超えた研修になるよう強く意識、計画する。 ・職員同士のグループワークを研修に入れていく。	・研修会後のアンケート調査 ・先生方からのニーズの内容聞き取り	
	生徒の読書活動の推進	・作品懸賞に積極的に参加し、知的財産を蓄えることに触れさせる。 ・図書館の本と同時に、県立図書館の電子書籍を利用し、読書活動を推進する。	・懸賞後の受賞結果 ・図書館貸出数調査 ・生徒の声	

様式3

DX推進課	ICT機器の環境整備及びホームページによる情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一台端末やその他ICT機器を管理・運用し、DX教育を推進するための環境を整備する。 ・広報課と連携し、学校ホームページを新システムに移行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の点検 ・ICT機器等についてニーズの聞き取り 	
	教員及び生徒のICT研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ITリテラシーの向上と授業改善のための職員向けICT研修を行う。 ・学習支援ツールについては生徒向け研修を行うなどスムーズな情報教育を実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会後のアンケート調査 	
1年	高校生活に必要な基本的価値を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・筑紫Basicにより基礎基本を身に付けさせ、その後も継続して規範意識、帰属意識を高める。校是「師弟同行」の理念を継承しつつ、多様性を尊重し、主体的、協働的に学ぶ姿勢を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディーサブリポートフォリオ 	
	将来を見据えた学習習慣を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間や校内、校外における研修をはじめとする探究活動を推進することにより、自身の生き方や学問を深め、将来像を見据えたキャリア教育の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディーサブリポートフォリオ 	
2年	自律型人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間をはじめとする探究活動を推進し、自身の進路目標達成に必要な方向性を定めさせる。また、前例のない活動に対しても積極的に参画する創造力を培う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディーサブリポートフォリオ 	
	自己肯定感を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や部活動等における役職経験をととして、自己有用感を高める。また、スタディーサブリの活用等により、個別最適な学びを支援し、生徒の学習における成功体験を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディーサブリポートフォリオ 	
3年	個に応じた進路指導による進路実現	<ul style="list-style-type: none"> ・第一志望への合格に向けて生徒一人一人に対して様々な入試形態を検討し、国公立大学100名以上、難関大学5名以上の合格を目指す。 ・タブレットやスタディサブリ等を活用し、成績層ごとにポイントを絞った学習指導、進路指導を行うことで、生徒自身の自走力を伸ばす。 ・進路部と連携し、新課程入試の情報を早く入手し、教員間、生徒教員間で正確に情報を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部模試、検定試験 ・スタディサブリポートフォリオ ・進路説明会、講演会でのアンケート ・三者面談で各家庭との情報交換 	
	筑紫生として誇れる姿を残す。	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動、学校行事で学校全体を牽引し支えるリーダーシップ、フォローシップを発揮させる。最高学年として全体を見渡す視点をもつよう助言をする。 ・挨拶、集会での集合状況、校歌斉唱などで筑紫生として模範となる姿を残す。「当たり前前」の事を当たり前以上に行うことを体現させる。 ・学年団が一枚岩となって生徒が貪欲に学習に励む姿をバックアップし、生徒に諦めさせない指導を教員側も諦めずに継続して行い、生徒全員が納得して卒業の日を迎えられるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・達成度の自己評価 ・学校行事後のアンケート ・学校生活アンケート 	
事務室	安心安全な施設設備の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修工事中であっても生徒が安全に学校生活を送ることができるよう、期間中の工事に関する情報を職員間で共有し、安全確保に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全配慮に関する調査 	
	費用対効果を考慮した予算執行	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で連携し、意見交換を踏まえた上で学校運営に必要な予算執行を行う。予算執行にあたっては優先順位を十分考慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換 	